



平成20年5月7日

各位

会社名 アシード株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 河本 隆雄  
 (コード番号 9959 東証第二部)  
 問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長  
 寺地 実  
 (TEL. 084-941-3311)

## 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記の通り連結子会社株式の減損処理をいたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成19年5月11日に公表しました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生とその内容

当社の連結子会社、アシードブリュー株式会社の株式について減損処理を行うものです。アシードブリュー株式会社は現在、経営改革の途上であり、業績の回復が見られますが、その財政状態を慎重に勘案した結果、個別決算において、200百万円の株式評価損を計上することといたしました。なお、本件による連結業績予想への影響はありません。

#### 2. 業績予想の修正について

平成20年3月期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

##### 連結

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	26,300	350	310	100
今回修正予想(B)	26,103	387	341	128
増減額(B-A)	△196	37	31	28
増減率(%)	△0.7	10.7	10.1	28.3
前期実績(平成19年3月期)	26,170	310	275	67

##### 個別

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,000	250	210	95
今回修正予想(B)	10,991	107	49	△193
増減額(B-A)	△1,008	△142	△160	△288
増減率(%)	△8.4	△57.2	△76.5	—
前期実績(平成19年3月期)	11,942	242	201	92

#### 2. 修正の理由

連結業績につきましては、自販機運営事業において関東・首都圏の業績が好調に推移したことに加え、飲料製造事業において営業赤字幅が縮小したこと等により、前回公表計画を上回る見込みとなりました。

一方、個別業績につきましては、これまで自販機の好立地とされていた遊技場業界の低迷を受け、この市場における自販機のスクラップ・アンド・ビルドを積極的に進めたことによるものと、連結子会社株式の減損処理を実施したことにより、前回公表予想を下回る見込みとなりました。

なお、これにともなう配当予想の変更はありません。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及びデータに基づき作成したものです。今後様々な要因によって、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上